市場と産業：
上昇のリストとクロージング

PROVIDENT TITLE COMPANY

カリフォルニア州の新しいアクティブリスティングは、5月1日までの週に18.6％急増し、3週連続で3番目の増加となり、売り手が住宅を再び市場に出すことをより快適に感じ始めている兆候です。さらに、一戸建て住宅の非公開の販売は低いままですが、先週のカリフォルニア州では、3月中旬以降、住宅販売で最初の週の増加を記録しました。3月中旬に底入れした後、州全体で上映も増加しています。

住宅ローン金利が史上最低水準に近づいているため、多くの消費者が今では売るよりも買うほうがよいと考えています。 CARの毎月の消費者心理調査によると、2020年5月の31％の回答者は、購入に適した時期であると考えており、2020年4月の28％と2019年5月の22％から増加しています。 2019年5月の45％から急激に減少し、29％近くにホバリングします。

全国的に住宅ローンの7.5％以上が寛容であり、発生が始まってから住宅ローンの利用可能性が25％以上急落しているため、貸し手はより高い信用スコアと頭金の要件を導入しています。これにより、住宅ローンの取得が事実上困難になっています。

カリフォルニア州公衆衛生および労使関係省は、不動産取引に関する新しい業界ガイダンスを発表しました。このドキュメントは、労働者の安全で清潔な環境をサポートするための、一世帯、複数世帯、アパート、商業用、および工業用の不動産の販売および賃貸を含む、不動産業界で事業を営む企業向けのガイダンスを提供します。カリフォルニア州は現在、「リスク回復ロードマップ」のフェーズ2に入り、リスクの低い職場を徐々に開放して州を再開するため、不動産専門家はこれらのガイドラインに従うことが期待されます。このガイダンスは、不動産やオフィスの活動により多くの制限を課す、より厳しいローカルガイドラインに取って代わられる可能性があることに注意してください。

州のガイダンスによると、すべての不動産事務所は、再開する前に、職場固有のCOVID-19防止計画を作成しておく必要があります。州のガイダンスでは、物件を表示するために、オフィスが新しい洗浄、消毒、および物理的距離の規則に準拠することも要求されています。車。カリフォルニア州保健局と協力して、これらの規則を修正しています。

大量解雇は引き続き不動産業界を襲い、Airbnb、Realtor.com、およびDouglas Ellimanで先週新しい波が発表されました。コスト削減策として、RealogyのCEOであるRyan Schneiderは、Amazonとの同社のターンキーパートナーシップを一時停止しました。一方、Opendoorは2つの市場で慎重に住宅購入に戻り、非接触型販売を実施しています。 iBuyersのRedfinNowとZillow Offersも同様に返品を計画しています。

ソース: https://e0ac19a3-665d-4e49-9303-5095dece1981.filesusr.com/ugd/e2712f_8a8eb64f3d9245148e7b08ff21559b97.pdf